

米子工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	建築史 I
科目基礎情報						
科目番号	0033		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	光井渉・太記祐一『建築と都市の歴史』					
担当教員	荒木 菜見子					
到達目標						
1.身近にある歴史的な建築に興味関心を持つことができる 2.日本建築の歴史的変遷を理解できる 3.時代ごとの建物の特徴を説明できる						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
身近にある歴史的建築に興味関心を持つことができる		実際の建物を見に行く	実際の建物を見たいと思う		興味関心がない	
日本建築の歴史的変遷を理解できる		時代背景と建築の変遷の関係が説明できる	時代背景と建築の変遷の関係が部分的に説明できる		時代背景と建築の関係がわからない	
時代ごとの建物の特徴を説明できる		時代ごとの建築の特徴を説明できる	時代ごとの建築の特徴を部分的に説明できる		時代ごとの建築の特徴を説明できない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A						
教育方法等						
概要	日本建築の様式・構造・意匠の名称といった基礎知識を習得する。また種別ごとに時代の流れに沿って建築学的な特色・特質と変遷を学ぶ。					
授業の進め方・方法	住宅・民家建築、神社・寺院建築を中心に、古代・中世・近世・近代という歴史的流れを通じて、日本建築の特色と変遷を理解する。 (1)日本建築における自然と社会的背景を理解する。 (2)日本建築の構造、材料の特徴を理解する。 (3)日本建築の意匠の特徴を理解する。 (4)日本人の建築観を理解する。 (5)日本建築の伝統の維持について理解する。 (6)以上の項目を踏まえて、我が国に伝わる伝統的建築の特質と変遷を修得し、「我が国の伝統的建築」に対する理解と造詣を深める。					
注意点	スライドによる講義を中心に行う。 授業プリントを用意するが、口頭で伝える内容においても重要と思うものは各自メモを取るなり心掛けてもらいたい。 実際に現存する実例を訪ね歩く魅力を感じ取ってもらえると望ましい。 また従来の日本建築の意匠・構造を現代の建築に応用できるよう、設計製図の参考にして欲しい。 質問などがある学生は随時研究室を訪ねること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス		各時代の説明	
		2週	原始の住宅建築		竪穴住居・平地住居・高床住居	
		3週	古代の住居建築/形式		間面記法・身舎と庇の考え方	
		4週	原始の集落形成		原始の集落の特徴がわかる	
		5週	古代の都市形成と住宅建築		古代の都市形成と寝殿造の特徴がわかる	
		6週	中世の住宅建築		会所と方丈の特徴がわかる	
		7週	中世～近世初期の住宅建築		書院造の特徴がわかる	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	テスト直し		前期中間までの振り返りと今後の内容について	
		10週	茶室と数奇屋		茶室と数奇屋の特徴がわかる	
		11週	町家（中世～近世）		町家の特徴がわかる	
		12週	さまざまな町の在り方・文化財		中世から近世のさまざまな町の特徴がわかる	
		13週	農村		農村の特徴がわかる	
		14週	民家		日本各地の民家形式がわかる	
		15週	身近な名建築1		最近の研究内容紹介	
		16週	前期期末試験			
後期	3rdQ	1週	テスト直し		夏休みの見学発表	
		2週	寺院建築 1		伽藍配置の考え方がわかる	
		3週	寺院建築 2		堂の特徴がわかる	
		4週	寺院建築 3		和様の考え方がわかる	
		5週	寺院建築 4		唐様・大仏様の考え方がわかる	
		6週	寺院建築5		塔婆の特徴がわかる	
		7週	移築・復元・復原・復興		古建築の現状がわかる	
		8週	後期中間試験			

4thQ	9週	テスト直し	身近な神社の紹介
	10週	神社 1	神社の歴史がわかる
	11週	神社2	神社形式の種類がわかる
	12週	城郭建築1	城郭の歴史がわかる
	13週	城郭建築 2	天守の構造がわかる
	14週	城郭建築 3	御殿の目的がわかる
	15週	身近な名建築2	最近の研究内容紹介
	16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかにするための実験手法、実験手順について説明できる。	2	
			実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。	2	
			実験データの分析、誤差解析、有効桁数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。	2	
			実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	2	
			実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	2	前3
			実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。	2	後9
			個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。	2	前6
			共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。	2	後9
			レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。	2	後9
		グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前7,前8,前9,前15,前16,後1,後8,後9,後10,後15,後16
			様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前7,前8,前9,前15,前16,後1,後8,後9,後10,後15,後16
			異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前7,前8,前9,前15,前16,後1,後8,後9,後10,後15,後16
			それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前7,前8,前9,前15,前16,後1,後8,後9,後10,後15,後16
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	都市と農村の計画について説明できる。	2	後11,後12,後16
			原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14,後16
			古代(例えば、住宅建築、寝殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14,後16

				中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禅宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14,後16
				近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	20	0	0	0	0	10	30
専門的能力	60	0	0	0	0	10	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0